

上場企業の「平均年間給与」動向調査（2023年度決算）

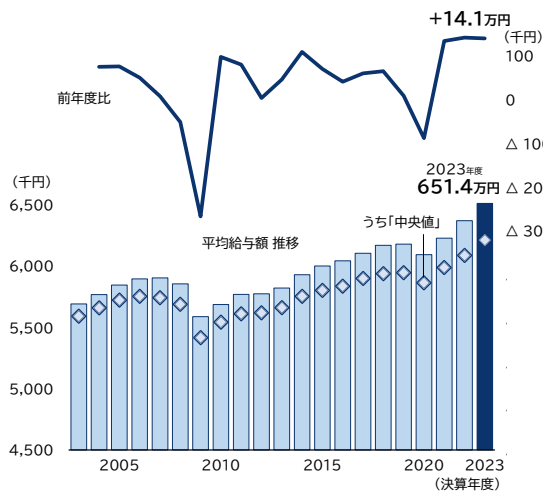
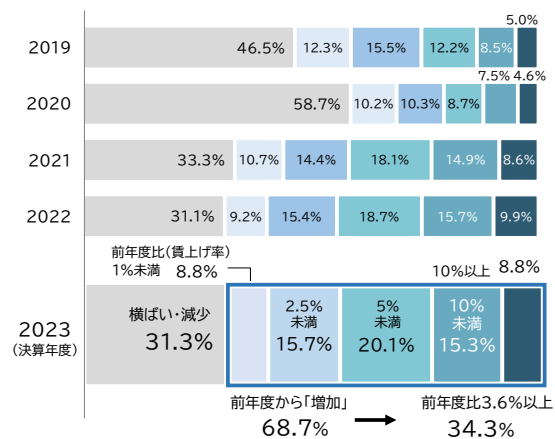
「上場企業」の平均年収、2023年度は651.4万円

過去20年で最高額を更新 「海運業」は平均1千万円超

ポストコロナに向けて経済活動が本格化するなか、多方面で表面化した人手不足への対応などを背景に、業績好調な企業・業界を中心に賃上げなどの待遇改善で人材を確保する動きが進んできた。2023年度における上場企業の給与水準は平均651.4万円となり、過去20年間で最高額を更新した。厚生労働省が集計した、民間主要企業における2023年の平均賃上げ率（3.6%）を上回った上場企業も全体の3割超を占め、大幅な賃上げの動きが上場企業で加速した。

2024年度は物価高などを理由に初任給など給与テーブルを大幅に引き上げる事例が目立つほか、パート・アルバイトも含めた時給の引き上げに動く企業も出ており、待遇改善で人材確保を図る傾向が一層強まっている。企業業績や収益改善のペースは各企業によって差異があるものの、33年ぶりの水準に達した春闘を経て、上場企業の24年度平均年間給与は上昇するとみられる。

上場企業の「平均年間給与額（年収）」推移


 平均年間給与額の前年度比 割合
 (2019年度以降)


[注] 有価証券報告書に「平均年間給与・従業員平均年齢・勤続年数」の記載がある全上場企業を対象に調査を行った。持ち株会社などの業態、社員数などで対象を限定していない。業種分類は金融庁の定めに基づいた

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

「上場企業」社員の 23 年度平均給与は 651 万円、過去 20 年で最高値を更新

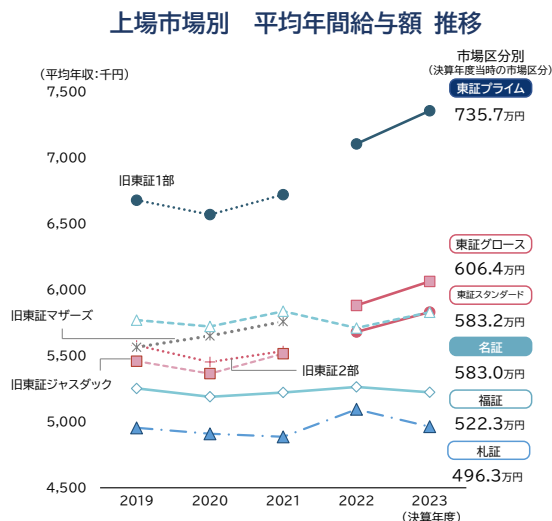
2023 年度決算期 (2023 年 4 月-24 年 3 月期) の全上場約 3800 社における平均年間給与 (平均年収、提出された有価証券報告書に基づく) は 651 万 4000 円だった。22 年度の 637 万 3000 円より 14 万 1000 円 (+2.2%) 多く、3 年連続で前年から増加したほか、平均給与は過去 20 年で最高額を更新した。なお、2023 年度平均給与額が最も高い企業は、M&A アドバイザリーや仲介業務を手がける「M&A キャピタルパートナーズ」(2478 万円、東証プライム)。

2022-23 年度の増減を比較すると、前年度から平均年間給与が「増加」した上場企業は 68.7% を占めた。22 年度に続き、約 7 割の企業で増加するなど賃上げの動きが広がった。増加率「5%未満」が最も多く、全上場企業の 20.1% を占めたほか、「10%未満」(15.3%)、「10%以上」(8.8%) の増加率となった企業もあった。この結果、厚生労働省の調査 (「令和 5 年 民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況」) に基づく 2023 年の平均賃上げ率 (妥結額ベース) 3.6% を上回る上場企業は 3 割を超えた。2022 年度に続き、輸出企業を中心に円安の追い風を受けて好業績となった企業で賃上げの動きが活発だったことに加え、小売・サービスを中心に人手不足を背景とした処遇改善目的の賃上げ機運が高まったことなどから、上場企業における平均給与額は引き続き上昇傾向が目立つ 1 年となった。

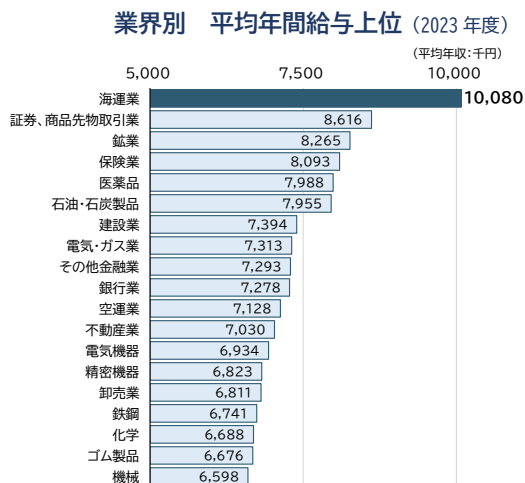
「東証プライム」上場企業は平均 700 万円超、全市場平均で最高額

上場市場別にみると、最も平均年間給与が高いのは「東証プライム (市場)」上場企業で、平均 735 万 7000 円となった。単純比較はできないものの、「旧東証 1 部」上場を含め、2 年連続で 700 万円を超えたのは 2023 年度が初めて。次いで高いのは「東証グロース」の 606 万 4000 円となり、前身となる旧東証ジャスダック・マザーズ両市場と比較しても初めて 600 万円を超えた。

業種別にみると、最も平均年間給与が高い業界は「海運業」の 1008 万円で、全業界で唯一平均 1000 万円を超えた。全 33 業界のうち約 8 割にあたる 27 業界で、集計可能な 2003 年度以降で最高額を更新した。



【注1】「札証」「名証」「福証」の各市場は、それぞれ「単独上場」企業が対象
 【注2】「札証」はアンビジャスを含む
 「名証」は名証プレミアム市場・同メイン市場・同ネクスト市場の合計 (2021 年度以前は第一部・第二部・セントレックスの合計)
 「福証」は Q-Board を含む



【注】業種分類は金融庁の定めによる